



Creative Application A05

# 表現の蓄積・創発の継続

2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

# 資料の見方

---

テーマに沿った項目  
(座学で説明します)

左の内容に関連した  
補足キーワード  
(調べ物に役立ててください)

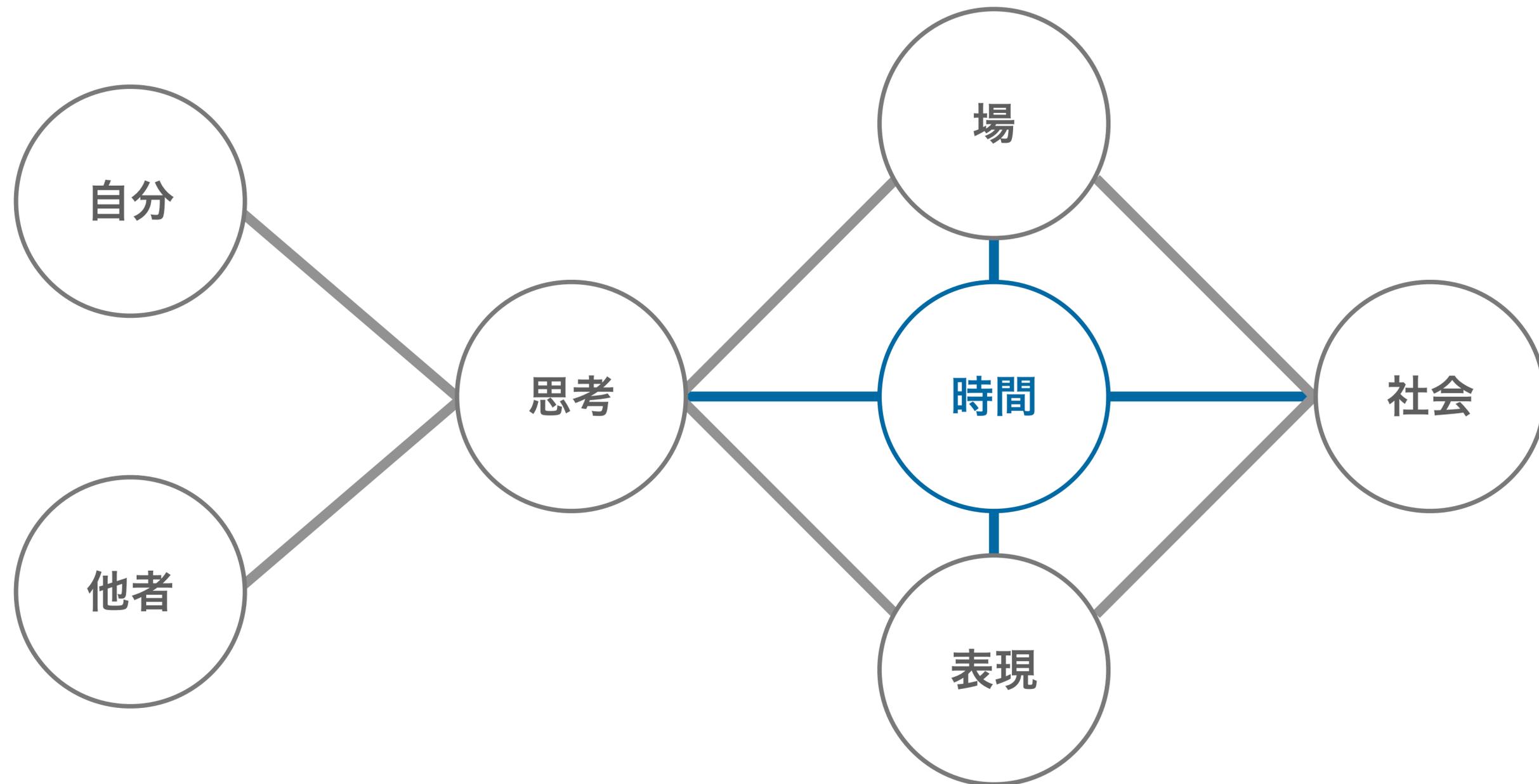
# 本日のテーマ

---

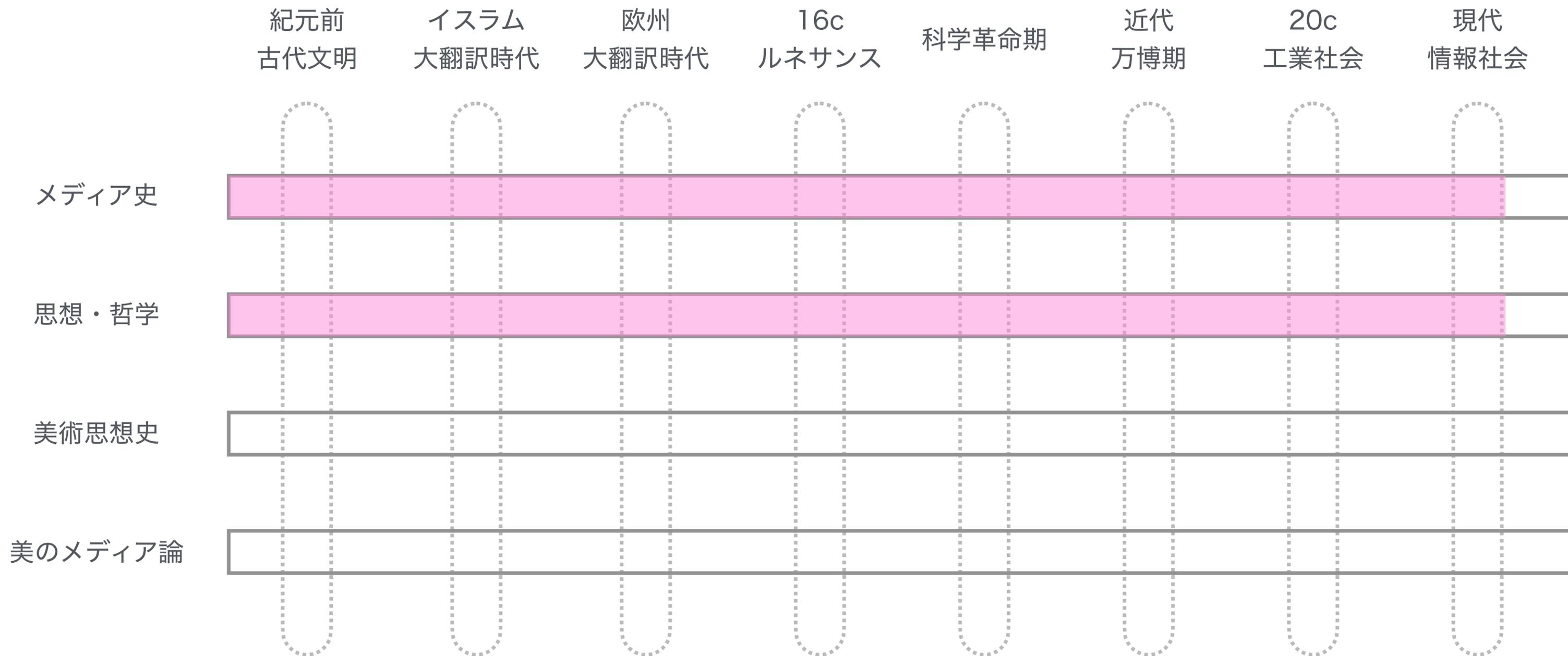
- ▶ **試行錯誤の共有とアーカイブをはじめめる**

# 関連要素図

---



# 今回の領域



# 知識の揮発性とメディア・サイクル

---

- ▶ 知識は時間の経過で摩耗する
  - ▶ 知識の意味・価値の変化
  - ▶ 忘却や死など, アクセス手段の喪失
  - ▶ 失われるとサイクルが停止
  - ▶ 創発が起きない・次のサイクルにつなげない
- ▶ **知識共有 + 出力 + 継続**
  - ▶ 知識・試行錯誤を記録していくことが重要
  - ▶ メディアの場にある知見をいかに残すか

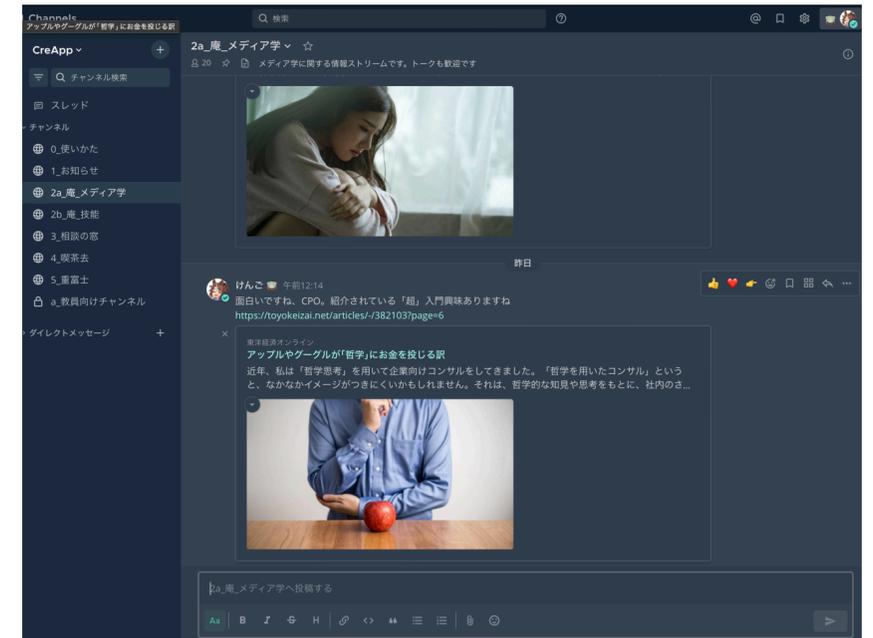
## 関連キーワード

- アレキサンドリア図書館
- 知恵の館
- シチリア・パレルモ
- インターネットアーカイブ
- Wikipedia
- クラウドコンピューティング
- Google検索
- バックアップ

# ストリームの場・アーカイブの場

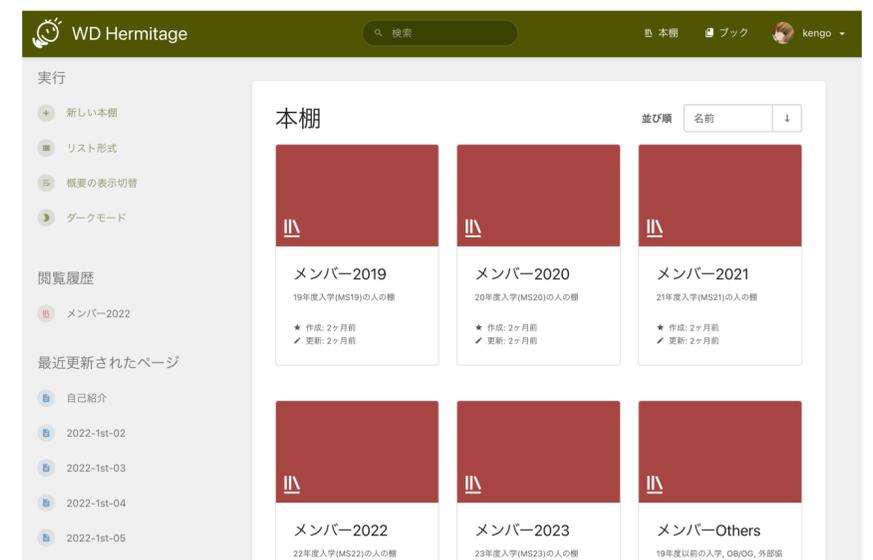
## ▶ ストリーム・ログ型

- ▶ 出力の場・情報共有の場・交流の場
- ▶ 仕事場, 盛り場, 部室, イベントなど
- ▶ Mattermost(Hyperion)の役割

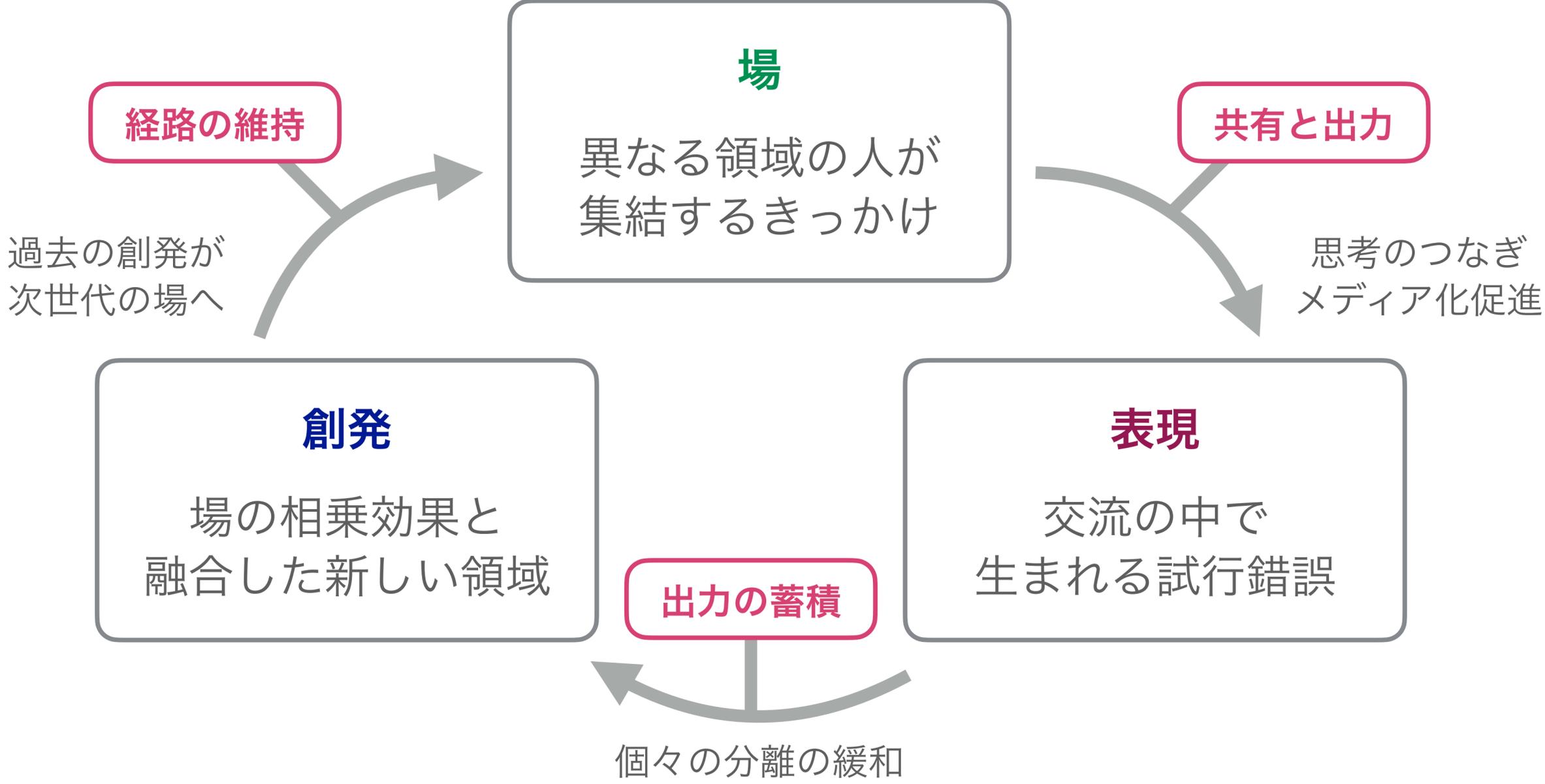


## ▶ アーカイブ・ストック型

- ▶ 記録の場・保持蓄積の場
- ▶ 日記, 本棚, 金庫, 図書館 など
- ▶ BookStackの役割



# メディア・サイクルと継続性



# 試行錯誤の共有とアーカイブをはじめめる

---

- ▶ 時間が経っても知識を継続させる必要性
- ▶ **メディア・サイクル内のストリームとアーカイブ**
  - ▶ 共有と出力
  - ▶ 出力の蓄積
  - ▶ 経路の維持
- ▶ **各自は… 知識を共有する, 出力する, 蓄積する**

# CreApp-Bのリンク4

---

- ▶ **記録を継続して貯める → 近い未来の自分を導いてくれる**
  - ▶ ものづくりの過程記録は思考を研磨してくれる
- ▶ 進捗のあるなし関係なく日々のメモを記録する
- ▶ 悩んだこと, 困ったことを該当箇所にメモする
- ▶ できあがった部分についてもメモを残す

# 本日の談義・考察一助

---

- a. メディア・サイクル内でストリームとアーカイブの使い所を考えたい
- b. ストリームを維持するために必要なことはなにか
- c. アーカイブを維持するために必要なことはなにか
- d. 身の回りにあるストリームとアーカイブの例を挙げてみてほしい
- e. 上記に限らず、自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

# 次回予定

---

- ▶ **美術思想史1：観察の変遷 - 表現者の思考**

# 参考文献

---

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 井筒 俊彦, 「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
4. 高階 秀爾, 「ルネッサンスの光と闇」, 中公文庫, 1987
5. 井上 浩一, 「生き残った帝国 ビザンティン」, 講談社文庫, 2008
6. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
7. 徳善 義和, 「マルティン・ルター - ことばに生きた改革者」, 岩波新書, 2012
8. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
9. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
10. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
11. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
12. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
13. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001